

1. 論文（査読あり）

- (1) A. Sasao, T. Hirai, N. Iriguchi, H. Nakamura, M. Kudo, A. Sasao, and Y. Yamashita, "13C MR Imaging of Methionine-rich Glioma at 4.7T: A Pilot Study." *Magn. Reson. Med. Sci.* 10(2): 139-142, 2011
- (2) 久保田真一郎, 副島慶人, 川村諒, 杉谷賢一, 武藏泰雄, 永井孝幸, 入口紀男, 右田雅裕, 喜多敏博, 松葉龍一, 辻一隆, 島本勝, 木田健, 宇佐川毅, 中野裕司, "学内無線 LAN アクセスポイントを利用した位置推定における歩行者の影響について." *学術情報処理研究* 15(1): 82-88, 2011
- (3) K. Nakajima, H. Nakano, F. Ohmori and K. Suzuki, The Effectiveness of Campus-wide e-Learning Supports Designed by an Extended ARCS Model. *International Journal for Educational Media and Technology*, Vol.5, No.1, pp.150-161, 2011
- (4) 高橋暁子, 喜多敏博, 中野裕司, 市川尚, 鈴木克明, 課題分析図を用いた学習内容選択支援ツールの開発 : Moodle ブロックによる学習者向け機能の実装, *日本教育工学会論文誌*, Vol.35, No.1, pp.17-24, 2011
- (5) 高橋暁子, 喜多敏博, 中野裕司, 鈴木克明, 教授者用の課題分析図作成ツールの開発 - Moodle への実装と評価, *教育システム情報学会論文誌*, Vol.29, No.1, pp.7-16, 2012

2. 国際学会会議論文（査読あり）

- (1) Yasuo Musashi, Masaya Kumagai, Shinichiro Kubota, and Keinchi Sugitani, "Detection of Kaminsky DNS Cache Poisoning Attack," *Proceedings of the Fourth International Conference on Intelligent Networks and Intelligent Systems (ICINIS 2011)*, Kunming, China, pp. 121-124 (2011)
- (2) H. Nakano, T. Nagai, Yunpeng Jia, M. Wannous and T. Kita, "Mashup approach for embedding algebraic manipulations, formulas and graphs in web pages ", *Proceedings of Global Engineering Education Conference (EDUCON)*, 2011 IEEE, pp.691-694. DOI: <http://dx.doi.org/10.1109/EDUCON.2011.5773214>
- (3) M. Wannous, H. Nakano and T. Nagai, "To know what they are doing in a web-based laboratory, a system for saving information on the learners' activities into Sakai's logs", *Proceedings of Global Engineering Education Conference (EDUCON)*, 2011 IEEE, pp.101-104. DOI: <http://dx.doi.org/10.1109/EDUCON.2011.5773121>
- (4) M. Wannous, H. Nakano and T. Nagai, "google calendar for managing and monitoring the utilization of a web-based laboratory's resources", *Proceedings of Global Engineering Education Conference (EDUCON)*, 2011 IEEE, pp.210-213. DOI: <http://dx.doi.org/10.1109/EDUCON.2011.5773138>

3. 国内学会会議論文（査読あり）

- (1) 久保田真一郎, 島本勝, 杉谷賢一, 中野裕司, "SPICE プロトコルを利用したデスクトップ画面伝送の比較評価", *大学情報システム環境研究* 14, 105-110, 2011

4. 国際・国内学会研究会及び講演資料等（査読なし）

- (1) Anang Kunaefi, Takayuki Nagai, Hiroshi Nakano, "Semantic Web Service Discovery Using Weighted Directed Acyclic Graph", *情報処理学会 第 74 回全国大会*
- (2) N. Iriguchi, "Intellectual Property Rights in Vietnam." *JICA Seminar on Intellectual Property Rights*, Ho Chi Minh 2012
- (3) N. Iriguchi, "How to Use Your Patents." *JICA Seminar on Intellectual Property Rights*, Ho Chi Minh 2012

- (4) N. Iriguchi, "International Protection of Intellectual Property." JICA Seminar on Intellectual Property Rights, Ho Chi Minh 2011
- (5) N. Iriguchi, "Information Literacy as a Required Subject for All Undergraduate Students of All Faculties of Kumamoto University." Workshop on Methodology for Higher Education in the 21st Century, Ho Chi Minh 2011
- (6) Yasuo Musashi, Masaya Kumagai, Shinichiro Kubota, and Keinchi Sugitani, "Detection of SSH Dictionary Attack in DNS Reverse Resolution Traffic," IPSJ SIG Technical Reports, Internet Operation and Technology 14th (IOT14) Vol. 2011-IOT-14, No. 3, pp. 1-6 (2011)
- (7) Yasuo Musashi, Kazuya Takemori, Shinichiro Kubota, and Keinchi Sugitani, "Detection of DNS Cache Poisoning Attack in DNS Standard Resolution Traffic, IPSJ SIG Technical Reports, Internet Operation and Technology 13th (IOT13) Vol. 2011-IOT-13, No. 1, pp. 1-6 (2011)
- (8) 賈雲鵬, 永井孝幸, Muhammad Wannous, 喜多敏博, 中野裕司, "Maxima とマッシュアップ技術による SCORM コンテンツ中での数式処理と可視化の試み", 第 5 回 CLE 研究発表会 情報処理学会研究報告 Vol.2011-CLE-5 No.3 (2011-10)
- (9) 久保田真一郎, 杉谷賢一, "IMS 仕様と LEAP2A 仕様から見る e ポートフォリオのデータ構造", 第 36 回教育システム情報学会全国大会, 発表論文集:138-139
- (10) 久保田真一郎, 中野裕司, 永井孝幸, 杉谷賢一, 松葉龍一, 喜多敏博, 宮崎誠, 宇佐川毅, "e ポートフォリオへの学習活動データ統合の検討", 日本教育工学会第 27 回全国大会, 発表論文集:469-470
- (11) 久保田真一郎, 川村諒, 杉谷賢一, "不可視アクセスポイントの影響を考慮した RSSI による PC 位置特定手法の検討", インターネットと運用技術研究会, Vol.2012-IOT-16 No.47
- (12) 永井孝幸, 豊田寿行, 名古屋孝幸, 西澤弘毅, 今井正和, "講義ビデオの活用に向けた講義音声の発話特徴分析", 第 4 回 CLE 研究発表会 情報処理学会研究報告 Vol.2011-CLE-4 No.4 (2011-05)
- (13) 永井 孝幸, 久保田 真一郎, 木田 健, 松葉 龍一, 坂本 瑞穂, 伊澤 睦, 岩永 菜穂子, 中村 直美, 谷口 勝紀, 上田 誠, 後藤 正三, 河津 秀利, "Plone4 による熊本大学公式 Web サイトの構築", 大学 ICT 推進協議会 2011 年度年次大会講演論文集 p.268-p.275
- (14) 永井孝幸, "熊本大学における SSO の現状と今後", 情報サービス連携コンソーシアム第 8 回 WG 合同会合
- (15) 根本淳子, 竹岡篤永, 井ノ上憲司, 久保田真一郎, 柴田喜幸, 鈴木克明, "研究活動を支援するイノベティブなコミュニティ形成の要因調査", 教育システム情報学会研究報告 26(5),75-76
- (16) 大森不二雄, 中野裕司, 大学教育の学習成果と e ポートフォリオ, 教育システム情報学会第 36 回全国大会, ワークショップ WS6 (オーガナイザ), 広島市立大学, 広島, 2011 年 8 月 31-9 月 2 日, p.7 (2011-08).
- (17) 中野裕司, 松葉龍一, グローバルな視点から「e ポートフォリオの世界的動向」, 教育システム情報学会第 36 回全国大会, ワークショップ WS6 (講演発表), 広島市立大学, 広島, 2011 年 8 月 31-9 月 2 日, p.7 (2011-08).
- (18) 及川義道, 中野裕司, 喜多敏博, 松葉龍, 鈴木克明, 問題生成システムの開発と授業における学習活動に与える影響について, 教育システム情報学会第 36 回全国大会, 広島市立大学, 広島, 2011 年 8 月 31-9 月 2 日, pp. 36-37 (2011-08).
- (19) 高橋暁子, 喜多敏博, 中野裕司, 合田美子, 鈴木克明, e ラーニングにおける適応型テストの事例調査, 教育システム情報学会第 36 回全国大会, 広島市立大学, 広島, 2011 年 8 月 31-9 月 2 日, pp. 176-177 (2011-08).
- (20) 石井嘉明, 久保田真一郎, 北村士朗, 中野裕司, Web アプリケーション間連携による協調学習環境の実現に向けた調査及び検討, 日本教育工学会第 27 回全国大会, 首都大学東京, 東京都, 2012 年 9 月 17-19 日, 1a-210-02, pp.247-248 (2010-09).

- (21) 市橋貢, 中野裕司, 根本 淳子, 喜多 敏博, 学習管理システムにおける学習者相互の「つながり感」を高める機能に関する研究, 日本教育工学会第 27 回全国大会, 首都大学東京, 東京都, 2012 年 9 月 17-19 日, 1a-210-04, pp.251-252 (2010-09).
- (22) 片野俊行, 根本淳子, 中野裕司, 鈴木克明, S C C に基づいた e ラーニングによるプロジェクトマネジメントコースの実施結果報告, 日本教育工学会第 27 回全国大会, 首都大学東京, 東京都, 2012 年 9 月 17-19 日, 1p-210-02, pp.373-374 (2010-09).
- (23) 中嶋 康二, 中野裕司, 渡邊あや, 鈴木克明, 教員の e ラーニング実施における初動と継続を支援する動機づけ支援方策の提案, 日本教育工学会第 27 回全国大会, 首都大学東京, 東京都, 2012 年 9 月 17-19 日, 1p-230-02, pp.395-396 (2010-09).
- (24) 高橋暁子, 喜多敏博, 中野裕司, 合田美子, 鈴木克明, 課題分析図に基づく Moodle 用の事前・事後テストモジュールの形成的評価, 日本教育工学会第 27 回全国大会, 首都大学東京, 東京都, 2012 年 9 月 17-19 日, P3a-105-38, pp.911-922 (2010-09).
- (25) 高橋暁子, 喜多敏博, 中野裕司, 合田美子, 鈴木克明, LCM (Learner's Controlling Map) / LCM エディタの汎 LMS 化の検討, 情報処理学会第 5 回 CLE 研究発表会, 福井市, 2011 年 12 月 1-2 日, 情報処理学会研究会報告, Vol.2011-CLE-5, No.10, pp.1-9 (2011-12).
- (26) 中野裕司, 永井孝幸, 松葉龍一, 喜多敏博, HTML5 を利用したディスカッションの可視化とローカルファイル化の試み, 大学 e ラーニング協議会フォーラム 2011, 熊本大学, 熊本市, 2012 年 3 月 16 日, pp.41-43 (2012-03).

5. 学術著書または総説(解説)

- (1) N. Iriguchi, "Minamata Bay, 1932", Nippon Hyoron Sha, 2012, ISBN-13: 978-4535586222

6. 科研費等

- (1) 入口紀男(分担): 基盤(B)「超高磁場 MRI による脳アミロイドイメージングの開発」
- (2) 永井孝幸(代表): 若手(B)「高解像度教育コンテンツ映像の活用に向けた映像加工システム基盤の構築」, 平成 23 年度: 1,300 千円 (間接経費は除く)
- (3) 中野裕司(代表): 基盤(C)「コンテクストアウェアなシミュレーション教材オーサリングツールの開発」平成 22 年度: 1,430 千円 (間接費は除く)
- (4) 中野裕司(分担): 基盤(C)「国際標準規格に完全準拠した e ラーニングプラットフォームのオープンソースによる構築」平成 22 年度: 481 千円 (間接費は除く)

7. 受賞

- (1) 熊本大学特別表彰(教育活動表彰)
 受賞者: 入口紀男、中野裕司、杉谷賢一、宇佐川毅、喜多敏博、武藏泰雄、永井孝幸、松葉龍一、北村士朗、右田雅裕、久保田真一郎
 受賞日: 2011 年 5 月 30 日
 e ラーニングシステム及び KU:TO 等の全学の教育活動における ICT 活用環境を整備、また、長年にわたる全学の情報基礎教育に貢献
- (2) 平成 22 年度(2011 年度) 情報処理学会山下記念研究賞受賞
 受賞者: 永井孝幸
 受賞日: 2012 年 3 月 7 日
 「市販ハイビジョンカメラを用いた講義ビデオ撮影加工システムの運用報告」,
 [2010-CLE-1 (H22.5.14)] (教育学習支援情報システム研究会)

- (3) 平成 22 年度(2011 年度) 情報教育研究集会優秀ポスター賞
受賞者：中野裕司, 永井孝幸, Muhammad Wannous
受賞日：2011 年 12 月 8 日
「Web アプリケーション作品共有機能の実現 -JSP 入門授業の事例-」
情報教育研究集会(2011 年 12 月 7-9 日)

8. 特許・特許出願等

該当なし